

CLOSE UP 高校

ハンドベルの活動を通して 自分の役割や責任を学んでほしい

ハンドベルを通して奉仕の心を磨いてほしいと願う鎌井先生。グループで演奏するハンドベルは、メンバーが心をひとつにしてはじめて成り立つため、協調性・責任感が自然に養われると語ります。真面目で冷静な印象、そして時折みせるユニークな一面もある鎌井先生をクローズアップしました。

ハンドベルは 神様から与えられた贈り物

ハンドベルを始めたのは今から20年ほど前。当時、私が所属している教会にハンドベルクワイアができたことがきっかけです。教会は音楽が豊かな場所で聖歌隊にも所属していました。公立の中学校で5年勤務した後、金城学院に着任。理科の授業を担当する傍ら、ハンドベルクワイアの顧問を中学校で10年間担当し、現在も高校でハンドベルを教えています。

1970年、音楽宣教師故M.I.ケリー先生によって、金城学院中学校に日本で初めてハンドベルクワイアがつけられました。その時から「神様を讃え、人々の幸せのために」ベルを用いることをモットーにしています。そのため、ハンドベルには優劣を競うコンクールが存在しません。毎年全国規模で開催されるフェスティバルにおいても参加するグループの演奏を批評するのではなく、それぞれの特徴を尊重することを大切にしています。ハンドベルは私にとって信仰にかかわるものであり、神様から与えられた贈り物であると感じています。

ハンドベルを通しての 慰問活動

ハンドベルクワイアでは、定期演奏会や卒業コンサート、慰問活動などを積極的に行っています。刑務所へ行って500人ほどの受刑者の方を



金城学院高等学校
鎌井 泰 教諭

- 愛知教育大学地学教室高校課程卒業
- 公立中学校勤務後、金城学院中・高理科教諭に着任
- 名古屋バプテスト教会員、同ハンドベルクワイアに所属
- 日本ハンドベル連盟中部支部長

前にして演奏したことは、今でもとても印象に残っています。後でいただいた感想文には、「生徒たちが一生懸命に演奏する姿を見て、自分の幼かったときのことや自分の家族を思い出し、更生したいと思うようになった」といったことが書かれていました。私たちが予想もしなかった思いを抱いてくださり、大きなやりがいを感じることができました。

また、6月24日、大学ランドルフ記念講堂にて開催された中部フェ

スティバルでは、一つの曲を複数のグループの有志で演奏するという中部支部で初めての試みを行いました。ハンドベルが大好きな参加者が集まり楽しく演奏する、とても良いフェスティバルとなりました。

ハンドベルを通して 培われる協調性

ハンドベルは単音ではなく、多人数でいくつか音をつなげて楽曲を演奏するので、音の広がりを作りやすく、

和音がきれいなことが特長です。ハンドベルにしか表現できないような独特の曲もあります。ベルは起源が教会であることから賛美歌を演奏することが多く、よく歌い慣れた賛美歌をハンドベルの音色で聴くことができることも魅力の一つです。

ハンドベルは、チームワークがよくなければ演奏がまとまりません。一人が担当する音はシャープ、フラットの音を含めた4音くらいで、楽譜にベルの割り振りを書いて一人ひとりの担当する音を決めます。演奏する仲間が大勢いる中で、音が途切れないように調和を取りながら、いかに全体の中できれいに鳴らすかということが大切。一人でも欠けると演奏が成り立たないため、欠席や遅刻をしないように注意しています。自分を含め、ほかの人も大切なメンバーの一員として認識しながら活動することで培った協調性や責任感は、社会に出てからも必ず役に立つと思います。

学校生活や社会の中で 自分の責任が果たせるように



今の子どもたちは自然に触れる機会が少ないので、実際に見たり、触れたり、自分で足を運んでみることを大切にしてほしいと思います。ハンドベルでも、自分たちが演奏をするだけで満足するのではなく、ほかのグループの演奏を聴いたり、さまざまな人々と接することが大切だと思います。また、ハンドベルを含めて音楽は何より楽しむことが大切で

す。練習は厳しい面やたいへんなこともあります。その中でも楽しむことを忘れずに取り組んでほしいですね。人の話に耳を傾け、一生懸命向上しようとする素直な気持ちをこれからも持ち続けてほしいと思います。ハンドベルの活動を通じて自分の役割をしっかりと認識して行動し、学校生活や社会の中で自分の責任を果たせるようになってほしいですね。

鎌井先生はこんな人



鎌井先生はとてもユーモアがあります。練習のときは、歌を歌って教えてくださったり、冗談を交えて私たちが笑わせてくださったりもするので、楽しみながら練習に取り組むことができ、先生の熱意が伝わってきます。先生の指導はとてもきめ細かく、練習を重ねるうちに音が丁寧に出せ、そして、メンバーにも気を配りながら演奏できるようになりました。練習後も、私たちに交じってよく会話をしてくれる自慢の先生です。

鎌井先生とハンドベルクワイアのみなさん